

大阪の出身で、結婚を機に高知へ来ました。米袋バッグと着せ替え人形を作って、インターネットや店舗で販売しています。

米袋バッグを作ったきっかけは、夫の実家に米をもらったときの米袋を返していたら、リサイクルしないことを知り、もったいないと思うて収納用にバッグを作ったことがきっかけでした。手作り市で人形の持ち運び用に使用していると



米袋バッグを作ってます！

くぼ まさこ
久保 昌子さん
(篠原)

にこにこライフ

206



お客さんにほしいと言われ、作り方を教えました。めんどくさいという意見を聞き、販売してみようと思いました。

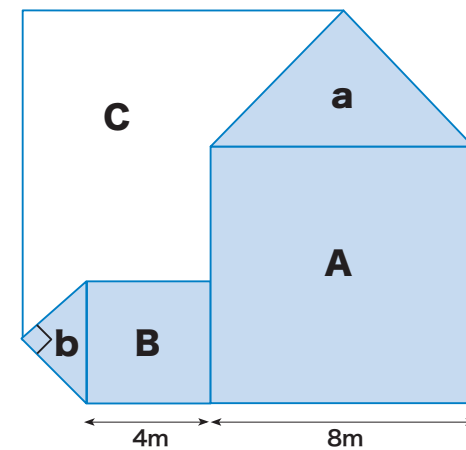
もともと物を作るのが好きです。今は、売っているもののほうがいいものがありますが、なるべく自分で作れるものは自分で作るようにしています。子ども達に作る楽しさを知ってほしいです。買ったそれだけで終わりますが、作ったら愛着がわいて長く大切に使うようになると思います。

米袋バッグは売るよりも広めたいと思っています。平成25年度の「高知家のいいものおいしいもの発見コンクール」へ出品しました。高知県産のものを使用することが出品の条件で、優秀賞をいただきました。作り方のパンフレットを出版したり、高齢者教室や小学校の文化祭でワークショップを開いたりしました。

手にした人が「おもしろいね」とか「すごいね」と喜んでくれたときや、バッグを持ってくれているのを見たときはすごく嬉しいです。米袋バッグを見た人がインスタに載せたのを見て、自分が使っていた米袋を販売している米屋さんの方が来てくれたときもあり、偶然が重なって人とのつながりが感じられることが嬉しいです。

親子クイズ 563

Q 正方形A,Bとそれぞれ斜辺を共有する直角二等辺三角形a,bが図のように位置しています。Cの面積は何平方メートルでしょうか？
正方形Aの一辺は8m、正方形Bの一辺は4mとする。



【第562回解答】

- ①あんずの花 ④雀の子
- ②雛 ⑤昼蛙(蛙)
- ③菜の花 ⑥ものの種

【第562回当選者】

永野 明 (蛍が丘)
川久保 幸美 (片山)
山岡 美代 (里改田)
高島 君江 (田村)
上地 育美 (本山町)

★応募総数/30通 ★正解率/43%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

■応募締切/4月8日(月)必着
■あて先/〒783-8501
南国市大堀甲2301
南国市企画課「親子クイズ係」
*はがきで応募
■賞品/正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

知って得する国民年金

国民年金保険料の納付期限は、翌月の末日です。忘れず納めましょう。

◆平成31年度国民年金保険料が決定しました。

第1号被保険者の保険料は定額制です。平成31年度は月額16,410円です。

◆納付書による前納割引があります。

国民年金保険料を納付書により納付する場合、一定期間まとめて納めると保険料が割引となる「前納」という制度があります。

○2年前納(平成31年4月～平成33年3月分)

380,880円(毎月納める場合より14,520円の割引)

○1年前納(平成31年4月～平成32年3月分)

193,420円(毎月納める場合より3,500円の割引)

○6ヶ月前納(平成31年4月～平成31年9月分、平成31年10月～平成32年3月分)

97,660円(毎月納める場合より800円の割引)

※前納を希望する月の月末が納付期限となります。(土、日、祝日の場合は翌営業日)

※過ぎてしまった月の保険料をまとめて納付しても割引は適用されません。

※30万円を超える納付書はコンビニエンスストアでは利用できませんので、金融機関でお支払いいただくこととなります。

※前納をされる場合は、専用の納付書が必要になります。納付期限がありますので、お早めに年金事務所までご連絡ください。

■問い合わせ 南国年金事務所 ☎864-1111
(自動音声案内②→②を押してください。国民年金課に繋がります。)
市民課年金係 ☎880-6555

こころ ふれあい つながって 95 人権学習シリーズ

進学、進級、就職等々、春の訪れとともに環境が変化する時期を迎えました。大人も子どもも不慣れた環境のもと、期待や不安で心のバランスを崩してしまうことがあるかも知れません。

ストレスをうまく流せる術を皆さんそれぞれお持ちだと思えます。一人ひとりが自分のストレス度に気づき、ためこまないよう、早めに対処することで、自分のことだけでなく、周りのしんどさにも気づき、助け合うこともできるのではないのでしょうか。

人間の子どものほとんどは大人になるまで世話が必要な生き物はいません。しかし、いろんな生活環境の中で親だけでなく、周りの人々の協力により成長してきたことを、大人になると忘れてしまっています。

現在の日本社会では児童虐待が後を絶ちません。最も安心できるはずの家庭の中で起こるケースが増えています。子どもがSOSを出す術を身につけることが必要な社会となつていきます。そのSOSを見逃さず命を助ける支援体制を整備することが求められています。

子どもは親を大切に想っています。信じています。子どもが大人になるまで手塩にかけて育てたいものです。そして子どもを必死で育てている大人を、周りが見守り、必要な

必要な時は手をさしのべて

時は手をさしのべてください。
南国市には支援機関の一つとして子育て世代包括支援センター「めばえ」があります。妊娠・出産・子育て期相談窓口として、開設しています。妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を目指しています。どんな些細なことでも構いません。いつでも、なだでもご相談ください。

・子育て世代包括支援センター「めばえ」
場所 南国市保健福祉センター内
☎863-7430
・こころの体温計/市ホームページやQRコードからアクセスできます。



ご自身のこころの体温「ストレス」を測って、早めの対応を試みませんか。

*このシリーズはあなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

■問い合わせ
人権啓発広報委員会
☎880-6569